

川畑満里子さん『新しい言葉』（8月23日配信）

こんにちは！

娘の話をします。今回は上の娘のことです。今5歳で、保育園の年中です。

保育園で、いろいろな新しい言葉が耳に入ってくるようで、娘も自分で使ってみようとしているんです。

先日、トイレに行く時に一緒についてきてとせがまれ、時々トイレの扉を開けておいて待つことがあるのですが、娘が用を足している時に突然「ママ、“やばい”ことがあったの」と言われたんです。「“やばい”って何があったの？」と聞くと、「保育園のお友だちが、お昼ご飯の前に吐いちゃったの。“やばい”と言うんです。手話の分からない新しい言葉は、娘は指文字を使います。“やばい”という日本語が突然出てきたことに変な感じがして、「それは“ああやっちゃった…”みたいなこと？」と手話で聞くと、そうだとします。

“やばい”という言葉を手話にすると、このようにその場面に合わせたいろいろな表し方があります。若い人たちの中には指文字の「や」と「倍」という手話を組み合わせて「やばい」と表す人もいます。

娘が“やばい”という言葉を使うのを見て、なんだか女子高生みたいだなと思ってしまいました。